

令和6年度第1回静岡市認知症対策推進協議会会議録

- 1 日 時 令和6年6月20日（木）19:15～20:45
- 2 場 所 静岡市役所静岡庁舎新館 17 階 172 会議室
- 3 出席者（委員） 富安会長、宗副会長、井出委員、河西委員、岸山委員、北島委員、櫻井委員、杉山委員、鈴木委員、田村委員、堀越委員、宮口委員、望月恵子委員
※内5名：WEB参加、8名：会場参加
（臨時委員）池田委員、佐藤委員、東野委員
※内2名：WEB参加、1名：会場参加
（事務局）地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
酒井参与兼次長、石川係長、望月副主幹、草谷主査、白鳥主任主事、柴山主任主事
（その他）小尾静岡市認知症疾患医療センター長
寺田静岡市認知症疾患医療センター長
畑静岡市認知症疾患医療センター長
静岡市立清水病院 都田係長、山崎主任主事
※内3名：WEB参加、2名：会場参加
（欠席者：委員2名、臨時委員1名）
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
 - （1）令和5年度静岡市認知症施策の実績について
 - （2）令和5年度静岡市認知症疾患医療センター運営事業の報告について
 - （3）令和6年度静岡市認知症施策について
 - （4）令和6年度静岡市認知症疾患医療センター運営事業の計画について
- 6 会議内容
 - 会議内容 資料の確認、WEB参加者のZOOM設定確認
 - 市挨拶 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部参与兼次長 酒井
 - 会長挨拶 富安会長

○会議成立 会議成立の報告（委員及び臨時委員 19 名中 16 名の出席により会議は成立）

富安会長

議題（１）令和５年度静岡市認知症施策の実績について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

＜資料１により説明＞

富安会長

資料１についてご意見やご質問がありましたら、お願いいたします。
鈴木委員いかがでしょうか。

鈴木委員

追加の情報ですが、認知症ミニ講演会を４者協定で実施していますが、講演会用のスライドを変更するために、静岡市静岡医師会でワーキンググループを立ち上げ、認知症専門医の方にもご意見をいただきながら作成中です。

若年性認知症フォーラムについて質問します。参加者 90 人のなかに若年性認知症の方やご家族の参加はありましたか。

事務局

広く市民に周知をして募集しましたので、一般の方のご参加が圧倒的に多かったです。

事業所、施設、医療機関等にも周知しましたので、少なからずご本人やご家族は来ていただけたと記憶しております。

鈴木委員

当事者にアプローチする場面を作っていくことが大事だといつも感じる場所ですので、その辺を把握していただければと思います。

富安会長

櫻井委員お願いします。

櫻井委員

7 ページ「認知症しずメール・認知症見守りシール」ですが、メール登録者数の 244 名は現在も継続して登録している方で、登録を途中で辞める方もいますか。

このメールの登録とシールの配布は、連動して両方している方がいらっしゃるのかそれとも別物なのかを教えてください。

あと、メールを発信したとき、受ける側の人数というのは今現在どのくらいに増えているか教えてください。

事務局

まず認知症の方の登録についてですが毎年 1 回、更新の確認を地域包括支援センターに依頼をしております。施設に入所等で、60 人程度減少し、60 人程度年間登録者が増加するという事で同じような人数を推移しているような状況です。

続いてメールの登録とシールの配布ですが、登録された方にシールを配布しておりますので、メールの登録人数とシールの配布人数というのは一致しております。

協力者側の人数についてですが、令和 4 年の中頃から市の L I N E との連携を始めたことで、人数が大幅に増加しております。延べ人数は手元に資料がなく確認できませんが、一昨年が 6000 人程、昨年度が 3000 人程、協力者の登録は増加しています。

富安会長

次に田村委員お願いします。

田村委員

3 ページ「認知症初期集中支援チームの設置」で、令和 4 年度も新規の件数が 0 件で、令和 5 年度も 0 件というのが、チームが活用できていなくて 0 件なのか、活用できた上での 0 件なのか教えてください。

事務局

認知症初期集中支援チームにつきましては、認知症初期集中支援チーム検討委員会で、チーム員活動等の評価がされております。

認知症初期集中支援チームが配置されてから件数が少ないということは以前から課題になっており、認知症初期集中支援チームで活動しなくても、総合相談で対応できている地域包括支援センターもあります。

事業として認知症初期集中支援チームの活動が全くないというのは課題とされており、令和5年度第2回認知症初期集中支援チーム検討委員会で委員からのご意見により各区1チーム認知症初期集中支援チームで活動して、初期集中支援チームで活動するメリットを知ってもらうという方針にし、活動するように促しているところです。

今年度に入り、地域包括支援センターから初期集中支援チームの活動について、質問がくるなど、活動について機運が高まっていると感じています。活動の内容については、年度末の協議会でご報告できればと思います。

富安会長

続きまして、河西委員お願いします。

河西委員

以前から実績がないのは疑問に感じていましたが、業務の中でこれは初期集中支援チームの対象なのではと思うことは多々あります。認知症の人と支援する関係者が繋がっていないのではないかと以前から思っていました、例えば町内会、民生委員、地域包括、医療等の繋がりが無いと思います。

何となく気にはなるけれど、うまく初期集中に繋がられていないのではないかという気がします。地域包括にアンケートを取ってみて、繋げたくても繋がれないでいる実績や、繋げ方が分からない等のアンケートを取ってみるのはどうでしょうか。

事務局

地域包括支援センターへのアンケートは令和4年度に認知症初期集中支援チームについてのアンケートを実施しております。

認知症初期集中支援チームのマニュアルの書式の数が多くて、チーム員活動がしにくい等の意見がありましたので、令和5年度にマニュアルの改定を行い書式の数も減らして少しでも地域包括支援センターの方で活動がしやすくなるようにしていますが、すぐに活動に結びついていない状況です。書式が使いづらい等地域包括支援センターから意見があれば、マニュアル等の改訂は考えております。令和5年12月にマニュアルを改定したばかりですので、実際に活動してみて、どういうところが問題点なのか、課題の洗い出しをしてからまた考えていきたいと思っております。

富安会長

活発なご意見ありがとうございます。どうぞ活かしていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局

回答の追加をさせていただきます。

先ほどの櫻井委員からご質問いただきました、認知症しずメールの協力者の人数ですが現在約 1 万 1000 人の方がメール登録をいただいているという状況があります。

富安会長

杉山委員お願いいたします。

杉山委員

2 点あります。1 点は 1 ページ、パンフレット「みんなの認知症予防の配付」についてです。私は地域包括支援センターへ勤務しており、「みんなの認知症予防」のパンフレットが市から地域包括支援センターにも 50 部程配布されていますが、今年度自治会の方が町内で回覧するので、50 部欲しいとか大量な冊数を希望する自治会が何ヶ所もありました。

パンフレットを地域包括支援センターに受け取りに来た経緯を伺ったところ送付時の通知に記載がされていたとのことでした。

去年は自治会から申し出はなかったのですが、配付や回覧等に変更があれば、事前に地域包括支援センターに言っていただけるとありがたいと思います。

このパンフレットは地域包括支援センターでも使いますが内容が濃く難しいため、ただ回覧をするだけでいいものなのか疑問なので、概要版のリーフレットを配布した方が市民にはわかりやすいと思います。

もう 1 点は“かけこまち七間町”についてですが、色々な啓発のイベントをされていて、とても楽しく参加しているという声を聞くことが増えてきました。来場者数を見ても、周知されているというのは非常に感じています。

ただ、“かけこまち七間町”へ行ったけれども、地域包括支援センターに行ってくださいと案内された方もいて、“かけこまち七間町”がどのように相談対応をしているのか分かりません。資料の中で関係機関との連携を図っていますが、“かけこまち七間町”の方から地域包括支援センターに相談の連絡をいただいたことがないので、どういう関係機関と連携して、どのような成果になっているのか知りたいです。

事務局

まずパンフレットについては、少しコミュニケーションの不足があったかもしれないと思っております。市民の方から冊子が欲しいと問合せが時折ありますが、お近くの地域包括支援センターにも冊子があるとご紹介したということはありません。

その方が自治会で大量に必要ということまで言ってくださったのに、地域包括支援センターへ行ってくださいと案内をしていたらこちらに非があると思いますので、今後はそのようなことはないようにしたいと思います。

杉山委員

実際に町内会長が市長名の通知を持っていて町内で回覧をするので、50部欲しいという申し出でした。

事務局

自治会長や民生委員には、1部ずつお渡しするようにしております。その時に冊子の作成について通知がついていると思いますのでそのようなところで、地域包括支援センターへ繋がってしまったのかもしれませんが。これから通知の出し方については整理したいと思います。

内容の難しさについては、お伝えしたいことが多くなってしまい、いろいろなことをやっていく中で内容が細かくなってしまったところがあると思います。

また、もっと薄くコンパクトで、わかりやすいものをもっと大量にといたようなご意見もいい案だと思いますのでそちらも検討させていただけたらと思います。

“かけこまち七間町”についてですが、認知症についての相談ができる所というような言い方で、宣伝をしております。

この後今年度の予定のところでもご説明をする予定でしたが、“かけこまち七間町”のあり方の再整理を、今年度検討を進めていきたいと考えております。既存の認知症の人を支援するようなサービスとの住み分けのところも、検討事項となっておりますので、今年度1年間かけて答えを出していきたいと思っております。関係機関との連携に関しては、地域包括支援センターやケアマネジャーとの連携というのが多くなっていると思います。

相談内容は、地域でサービスを利用しながら生活していくという状況であれば、“かけこまち七間町”のように市に1つしかない機関では支援の内

容を超えてしまいますので、そのような時は地域包括支援センターを案内することが多いと思います。

ただ、地域包括支援センターを案内してその都度地域包括支援センターへ連絡しますと記録の作成等地域包括支援センターの業務が増えてしまうという思いがあったため、かなり話が進み連絡していいという状況になってから情報提供するようにしていますので、それまでお伝えしていない期間がありました。

“かけこまち七間町”は普及啓発の拠点になっており、一昨年から地域包括支援センターと連携しながら地域の福祉まつりでブースを出すなどの機会が増えてきています。そこで、普及啓発のために脳の健康度を測るような機材を持って行き計測するなどしています。

相談支援の連携はまだ少なく、普及啓発予防早期発見の連携が増えておりこれからもこの方向性は強めていきたいと考えているところです。

富安会長

それでは続きまして、議題（２）令和５年度静岡市認知症疾患医療センター運営事業の報告について、各認知症疾患医療センターよりご報告をお願いいたします。

小尾静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料２－１により説明＞

寺田静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料２－２により説明＞

畑静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料２－３により説明＞

富安会長

ありがとうございました。それではご意見ご質問ありましたらお願いします。

宗委員いかがでしょうか。

宗副会長

いつも本当にいろいろな病院に紹介してお世話になっています。今年度

も診ていただいて、落ち着いたらかかりつけ医へ返していただいておりますし、この3病院はこのままやっただければすごくありがたいと思っています。

富安会長

それでは、ほかにご意見がなければ議題（3）令和6年度静岡市認知症施策についての説明を事務局よりお願いいたします。

事務局

＜資料3により説明＞

富安会長

ありがとうございました。それではご意見ご質問ありましたらお願いします。

河西委員お願いします。

河西委員

11 ページ、「認知症介護のインストラクター訪問事業」ですが、“かけこまち七間町”ができる前からずっとこれをお願いしていたので、とても嬉しいと思います。

足久保地区では、なかなか街中まで行けないというご家族が多いものですから、患者さんやご家族に寄り添っていただけることはありがたいと思いますので、ぜひ成果を教えていただけたらと思います。

また、事業全般についてですが協議会が始まった頃から、薬局薬剤師がいろいろやりますとお伝えしていましたが、全部事業から抜けてしまっていて少し寂しいと思っております。

例えば情報の発信や搜索訓練、研修等にもぜひ薬局薬剤師にもお声掛けいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局

インストラクター訪問事業につきましては、“かけこまち七間町”が市内に1ヶ所だけというところで、皆さんに広く周知をお願いしていながら、全ての地域には行けないという状況が続いていたことと、自宅を訪問することにより、具体的な相談対応ができるのではという二つの意図から今年から始めようとしております。

ケアマネジャーや地域包括支援センターも訪問の対応をしていただいています。多忙の中複雑困難な事例に対応しながらだと思しますので、まずは気軽に相談というところは、“かけこまち七間町”の事業の方で受け持っていきたいと考えております。

薬剤師との連携はチームオレンジの中には、薬剤師もメンバーに入っている地域がありますが、ここまで資料をまとめてしまうと関りが見えなくなってしまうのですが、ご協力いただいている部分がたくさんあり我々も感謝しております。

特に地域の薬局は、薬の相談に来られた方たちと接する一番近いところの支援をしていただいている職種の一つだと思います。認知症の早期発見も力を入れていく分野だと考えておりますので、今後も連携をよろしくお願いします。

富安会長

その他いかがでしょうか。鈴木委員お願いします。

鈴木委員

1 ページ、「令和6年度 静岡市の認知症施策の全体像」の山頂部分でかかりつけ医の記載がありその下に認知症医療センター、隣に認知症サポート医となっており、認知症サポート医からサポート連携の矢印がかかりつけ医を指していて、国が示している役割の一環ではあるので矢印は消せないと思うのですが、連携に関しては認知症サポート医の連絡協議会でニーズがあるのかということも含めて整理をした方がいいのではと思います。

事務局

多くのかかりつけ医の先生達に認知症サポート医になっていただいておりますが国、県、市も、サポート医の活動について明確な提案ができていない状況が続いてしまっていると思います。

認知症ミニ講演会ということで、地域での普及啓発を一緒に連携してやっていくというところは整理ができてきていますが、それ以外のところでは市としてお願いしたい事と、医師会の先生方からやっていきたい事を、去年やっとな話し合いが再開したという状況だと思いますので、また議論しながらよりよい方向に整理をできたらと考えております。

富安会長

それでは続きまして、議題（４）令和６年度静岡市認知症疾患医療センター運営事業の計画案について、各認知症疾患医療センターより説明をお願いいたします。

小尾静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料４－１＞

寺田静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料４－２＞

畑静岡市認知症疾患医療センター長

＜資料４－３＞

富安会長

ありがとうございました。それでは宮口委員いかがですか。

宮口委員

市民公開講座は、私どもデイで働いているスタッフなどは広報等をみて興味があるものは参加したりしていますが、専門職研修の情報がなかなか得ることができなくて残念だと思っています。

富安会長

周知については市の方でも協力していただいて、情報を市民の皆様に届けるようお願いいたします。

望月恵子委員

市民公開講座の方は、チラシを静岡介護者きずなの会へ送っていただいているので、交流会等の集まりのときには皆さんに、配付をしています。

富安会長

全体を通して何かご意見ありますでしょうか。

池田委員

“かけこまち七間町”について、いくつか意見と感想を言わせていただきます。令和５年度の実績報告に“かけこまち七間町”の来場者数と相談件数の記載がありました。

年々来場者数が増加しているということですが、目標値がどのぐらいな

のかが気になりましたが、今後も来場者数を増やしていくというお考えであると思いますので来場者の属性例えば男女、年代、地域などデータ分析に基づいた効果的なPRに取り組んでいただきたいと思います。

先日“かけこまち七間町”に伺ったのですが、スタッフの方の対応が親切丁寧で素晴らしいと思いました。

今回VRの体験をさせていただいたのですが、体験して終わりではなく、体験後スタッフとのやりとりがあり納得感がありましたので、より多くの方に体験してほしいと思いました。

令和6年度静岡市認知症施策についての“かけこまち七間町”の新規事業の認知症介護のインストラクター訪問事業ですが、待ちの姿勢ではなくてセンターを飛び出していくということで、非常にいい取り組みだと思いました。

ただ、先ほどからご意見が出ていますように、いろいろな意味で事業を進めていく上で、連携が重要になってくると思いますので、この事業実施についてはそのポイントを意識した上で事業展開をしていただきたいと思います。

最後に“かけこまち七間町”の在り方の再整理ということで、開設後の状況を踏まえてとありますが、いろいろなデータを取っていると思いますので、そういうデータに基づいてしっかりと分析をして、課題をあぶり出した上での再整理をしていただきたいと思いますということと、再整理という切り捨ててしまうようなイメージがあるのですが、いいところがたくさんあると思いますので、しっかりとそういうところを伸ばしていくというような、取り組みをやっていただけるとありがたいと思いました。

富安会長

ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。

佐藤委員をお願いします。

佐藤委員

私も先日“かけこまち七間町”に行き、様子を見させていただきました。非常に丁寧に詳しく説明をしていただき、市民の皆さんにたくさん使っていただけたらと思いました。こういうところがあると本当に安心できると思いますので、今後も広報活動などしていただければと思います。

富安会長

ありがとうございます。
井出委員お願いします。

井出委員

資料3「認知症介護のインストラクター訪問事業」の周知方法ですが、要介護認定の申請手続きをした高齢者のうち認知症の判定が出た高齢者の家族に関係機関から利用勧奨とありますが具体的にこれはどういったことなのか教えてください。

事務局

要介護認定の申請をする場合、ケアマネジャーや地域包括支援センターと連携をしながらやっていくことが多いと思います。

市から関係機関の方々にお願いをして、要介護認定申請をした方がいたら事業をご紹介して勧めていただきたいと考えております。

先日もケアマネット協会の総会や、地域包括支援センターの連絡会でご説明をさせていただいておりますが、これからも折を見てこの事業の紹介を引き続きお願いをさせていただきたいと考えております。

富安会長

東野委員お願いします。

東野委員

資料3、1ページ「令和6年度静岡市の認知症施策の全体像」が富士山型で表現されていますが、認知症施策は市民と医療機関や他の分野で分けるのではなく、専門機関と市民レベルと混ぜ合わせてやらないと、うまくいかないと思います。

その理由として、認知症に気づくのは医者よりも身近な友人という話があります。そこから医療機関に繋げるというのも友人の声掛けで初めて行く気になるようです。

市民レベルでここまでやる、専門医療機関レベルでここまでやるという役割分担も大事ですがその相互間の調整をできるような、連携の仕方ということも今後考えていかなければならないと思います。

富士山型の山頂から裾野までの分野を越えた事業を少しイメージしながらやっていくという事も必要だと思います。

次に“かけこまち七間町”のあり方についてですが、時代によって変わりがつつあるので、その検討事項というものもありますし、先程事務局から

も話が出たのですが住み分けという中で、“かけこまち七間町”の中に相談機能をなくせばいいのかということではなく、例えば“かけこまち七間町”は情報の発信地であり収集の場所でもあるので、そこに来たときに気軽に相談できるようにして、そこからまた地域包括支援センターへというような連携ができるといいと思いますので相談機能を持たせる必要性もあると思います。

身近にハードルの低い段階で相談できるような相談機関であって欲しいと思います。もっと深い相談であれば地域包括へという住み分けであって、“かけこまち七間町”の相談機関を無くすということにはしない方がいいと思います。

富安会長

ありがとうございました。本日の委員会を終了させていただきます。

令和6年度 第1回 会議録確認署名

「令和6年度第1回静岡市認知症対策推進協議会 会議録」について、内容を確認しました。

静岡市認知症対策推進協議会 会長

氏 名 (署名) 富安真理